

(別紙1)

イベント活動実績報告書

団体名	赤穂アートプロジェクト	活動名	アーティストインレジデンスによる地域魅力発信
-----	-------------	-----	------------------------

1 活動の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市御崎	② 実施期間 自 令和6年10月15日 至 令和6年10月20日	
③ 実施体制 ・団体構成員 15名 ・一般参加者 100名 ・ボランティア 5名 ・ 名 ・ 名 計 120名		
④ 活動実績（実行委員会や準備作業の活動実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）		
日程	項目	内容
2024年5月3日 ～5月26日	プレ展示会開催	土日祝日10日間で展示会を行い、地域の方にワルリ画を知ってもらう機会とする。
2024年5月6日	初回検討会議の開催	作品鑑賞及びアーティストを10月に招待するための実施内容などを検討。
2024年5月18日 16:00-18:00	アーティストトークイベント開催	アーティストとオンラインでインタビューを行い、制作の背景や活動状況などの伺う。
2024年7月上旬	準備会議の実施	クラウドファンディングに向けた準備・検討
2024年8月22日 ～10月10日	クラウドファンディングの実施	情報発信及び資金調達に向けて、クラウドファンディングを行う。（目標額50万・達成金額62.6万円） クラウドファンディング：Readyfor利用 https://x.gd/nGCIF （短縮URL）
2024年8月上旬	準備会議の実施	クラウドファンディング途中経過確認・告知に向けた準備
2024年8月	告知開始	告知チラシ、ネットでの告知を開始。
2024年10月12日	準備会議	当日に向けた準備体制調整を行う。
2024年10月15日 ～10月20日	展示会開催	展示会を行いながら、アーティストによる滞在制作を行う。
2024年10月15日 ～10月20日	アーティストインレジデンス	アーティスト滞在&制作WS開催 ※アーカイブ配信&見学を可能とする。
2025年3月中旬予定	開催報告会の開催	開催の振り返り及び報告会を行う。

2 活動実施の成果と今後の課題

世界的に活躍するウィエダ兄弟を赤穂御崎に 2024 年 10 月 15 日～10 月 20 日滞在してもらいながら、(1)絵の滞在制作(2)体験ワークショップの開催(3)展示会開催 (4)街なか展示 (御崎地区のアーティスト工房等とも連携を行い、地域のアートが楽しめるスポットを紹介し、地域アーティストの活動を知りながら、地域を回遊してもらえるイベントを実施した。

- (1) 絵の滞在制作の制作については、赤穂サンクチュアリ (御崎 165-1) の駐車場にて、主に 10 月 15 日～18 日を中心に 4 点の作品を制作して、街なか展示を行った。制作中のアーティストへ近隣の方が声をかけたりというコミュニケーションが生まれ、地域のアートを身近に感じるきっかけになったと考えられる。
- (2) 体験ワークショップの開催は、親子向けワークショップ 1 回 (参加者 15 名)、大人向けワークショップ 1 回 (12 名) を行った。地域からの参加者に合わせて岡山、香川、神戸、淡路島などからの参加者もあり、アートという切り口により、赤穂へ足を運ぶきっかけづくりにつながったと考えられる。
- (3) 展示会については、赤穂サンクチュアリにおいて 10 月 15 日～20 日にかけてウィエダ兄弟のキャンバス作品を約 10 点展示し、無料公開を行った。土日を中心に 10 名/日程度の見学者が訪れた。
- (4) 街なか展示については、10 月 19 日～20 日の 2 日間に①ミサキテラス前 (キラキラ坂周辺) ②御崎灯台に向かう階段 (作品 2 点) ③御崎灯台のふもとの 3 か所に 4 作品を展示した。19 日は雨天のため人も少なかったが、20 日は地図が示されたチラシを手に作品を巡る人が見受けられた。

また、資金調達にあたり、2024 年 8 月 22 日～10 月 10 日情報発信及び資金調達に向けて、クラウドファンディング: Readyfor を行い、目標額 50 万に対して、達成金額 62.6 万円を実施できた。

② 今後の課題

大きく 3 点 (1) 情報発信 (2) 資金調達 (3) 地域の巻き込みに課題があると考ええる。

- (1) 情報発信については、主に Instagram、クラウドファンディング Readyfor、メディア発信という形で行ったが、クラウドファンディングについては目標達成したものの、一番収入源として期待していたワークショップ参加への申し込みにつながる情報発信が行うことができていなく、活動の資金調達につなげる情報発信の仕方に課題があった。主な原因としては、ワークショップの集客をクラウドファンディングで行ったことで、クラウドファンディングの支援者は、関東圏など、赤穂から遠い地域の方が多く、ワークショップ参加に繋がらなかった点がある。今後は、兵庫・岡山・四国エリアのアートに関心が高い人向けの情報発信を行う必要があると考ええる。
- (2) 資金調達については、(1) と関連するがクラウドファンディングが達成金額 62.6 万円あったが、返礼品として、ワークショップを購入いただいた方は 2 名のみで、返礼品の調達費用がかかるものが多かったため、実際に活動に使用できた費用が達成金額の 40%程度 (約 25 万円) にとどまったことで、全体として赤字になる結果となった。今後としては、企業協賛などを視野に入れ、より活動を支援していただく方法の検討、協賛側へのメリットを示していくことが必要と考えられる。
- (3) 地域の巻き込みについて、企画当初は、ウィエダ兄弟の作品を御崎の各作家工房などに展示して、回遊してもらうことを想定していたが、制作期間が限られたこともあり、配置する場所が街なかの 3 か所にとどまった。今回チラシ裏面に回遊マップを入れられたことから、今後、更なる連携ができる仕組みにつなげていきたいと考える。

3 実施活動の写真



イベント全体の様子を映像作家:内田英恵さんがまとめてくださった動画を公開。

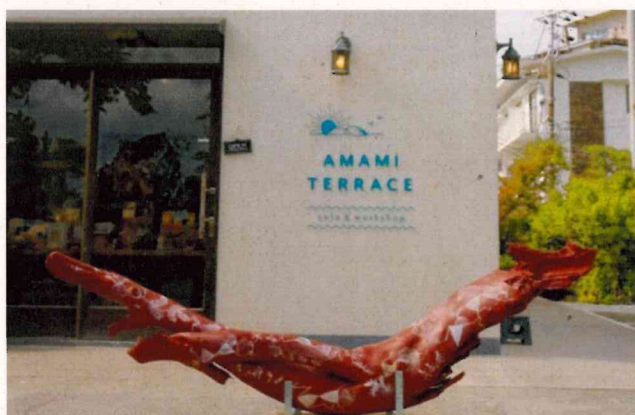
3日間の制作、2日間で開催したワークショップや街なか展示の様子を紹介。



↑ YOUTUBE にて公開中



ワークショップでは、ワルリ画の背景やワルリ族の自然観、ウィエダ兄弟の若い世代がこの伝統的な手法をアートとして表現している想いなどを紹介してもらいながら、実際に繊細なワルリ画を牛糞を塗ったキャンバス地に描いていくワークショップを開催。(全2回)



制作作品:生命の舟 種の運び手。設置場所:アمامィテラス前(赤穂市御崎2-1) 制作:ウィエダ兄弟 2024 流木 アクリル絵の具

物質を超えた世界で、12の精霊が大地に種を運んでいる絵。このシーンは、生命の創造と再生を表現。福浦海岸に流れ着いた流木の作品。(他3点制作)

4 参考資料を自由に添付してください。

① 制作チラシ表面

AKO ART PROJECT

赤穂御崎

まちなかアート

～インドの森から届いた種～

10/19 Sat.・20 Sun.

入場
無料



ワルリ画の街なか展示

フィエダ兄弟が赤穂市御崎にて滞在制作した作品が街なか展示されます。

展示場所が記載された地図（マップ）を見ながら、作品を観にいくことができます。

10月19日（土）10:00～11:00

赤穂御崎灯台にてオープニングイベント
※フィエダ兄弟と記念ペインティング

どなたでも参加可能!!
ぜひ灯台集合を!!

《まちなかアートと同時開催イベント》

展示会 & 滞在制作【入場無料】

10月16日（水）～20日（日）

※滞在制作は主に16-17日実施

フィエダ兄弟アーティストトーク（通訳あり）

10月20日（日）14:00～16:00

参加費：大人1500円 中高生500円

※小学生以下無料

①大人向けワークショップ

10月18日（金）16:00～18:00

参加費：10000円【定員15名】

②親子向けワークショップ

10月19日（土）14:30～17:00

参加費：3500円1組【定員20名】

※中高生の1名参加も可。2000円/人

会場：Co-Creation Space 赤穂サンクチュアリ（兵庫県赤穂市御崎 165-1）

Mail: akoartptj@gmail.com TEL: 050-3033-5084

主催：赤穂アートプロジェクト 協力：NPO法人ウォールアートプロジェクト

後援：赤穂市・赤穂市教育委員会 協賛：赤穂化成株式会社・ツォモリリ文庫

赤穂民間観光イベント等開催補助金活用事業・クラウドファンディング支援により運営しています



AKO ART PROJECT

赤穂御崎 まちなかアート ～インドの森から届いた種～

展示マップ

インドの代表的民族アート「ワルリ画」のアーティスト：ウィエダ兄弟が、赤穂御崎に滞在しながら制作した作品が展示されています。
赤穂御崎の海の風景と共に、散策しながら見つけてみてください。



展示期間：2024年 10月19日(土)・20日(日) ※展示期間後も場所によっては展示を継続。

アーティストトーク 2024年10月20日(日) 14:00～16:00

(会場 Co-Creation Space: 赤穂サンクチュアリ)

【ウィエダ兄弟の紹介】

兄1987年生まれ：トウシャル・弟1992年生まれ：マユール。
インド西部マハラシュトラ州ガンジャード村生まれ。(ワルリ族の自然豊かな昔ながらの暮らしを体験して育った最後の世代。) インドでのムンバイ大学へ進学後、自分たちのアイデンティティに目を向け、アートを通してワルリ族の自然に即した文化の発信を行う。

📍vayeda_brothers



【ワルリ画とは】

文字を持たなかったワルリ族では、米粉を絵具にして、収穫祭や結婚式などで五穀豊穡や子孫繁栄を祈る絵として書く風習があり、インドの伝統的民族アート「ワルリ画」として知られています。「ワルリ」は、「種を地下に貯蔵して保管する」ことを表現する「ワラル」という言葉から来ており、彼らが種を大切に自然と共に暮らしてきたことが伝わります。

《赤穂御崎のアート × 体験ができる場所》

赤穂御崎には、ガラス、和紙灯り、赤穂の伝統工芸である赤穂・綴通や雲火焼の作家さんたちが構える工房やギャラリーがあります(地図①～⑦)。

この機会にぜひ立ち寄ってみてください。

※体験ワークショップなどは事前予約が必要な場合がありますので、個別に確認ください。

お問合せ：赤穂アートプロジェクト

(Co-Creation Space 赤穂サンクチュアリ 内)

兵庫県赤穂市御崎 165-1

Mail : akoartptj@gmail.com

TEL : 050-3033-5084

イベント詳細はこちらから

